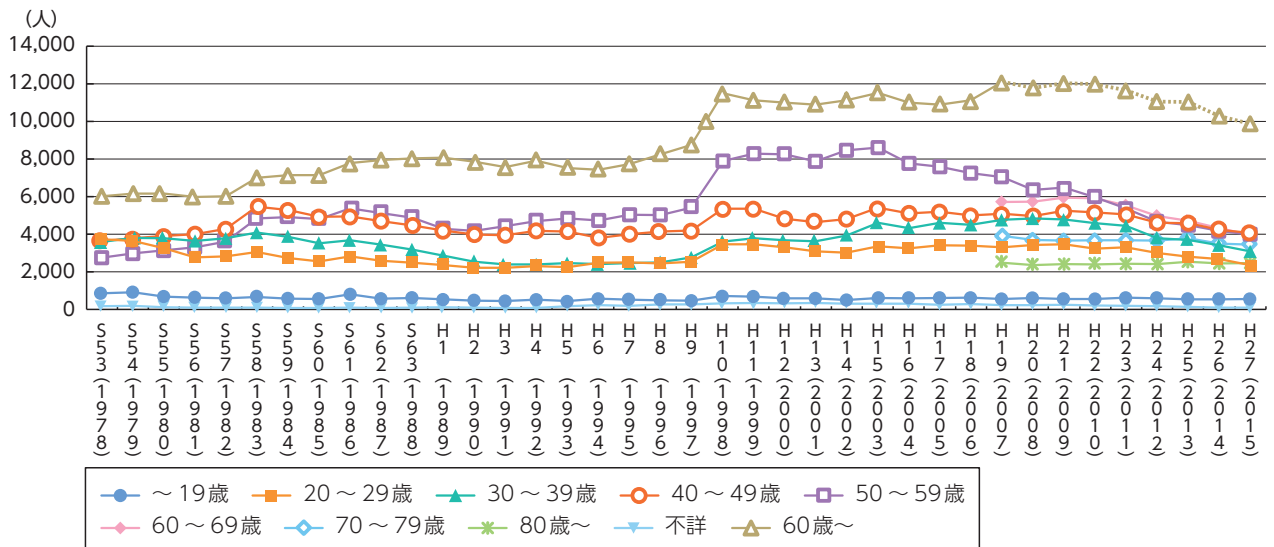


### 3 年齢階級別の自殺者数の推移

○50歳代は平成15年を境に減少傾向にあり、ここ数年は60歳代から20歳代までの各年齢階級も減少傾向にある。

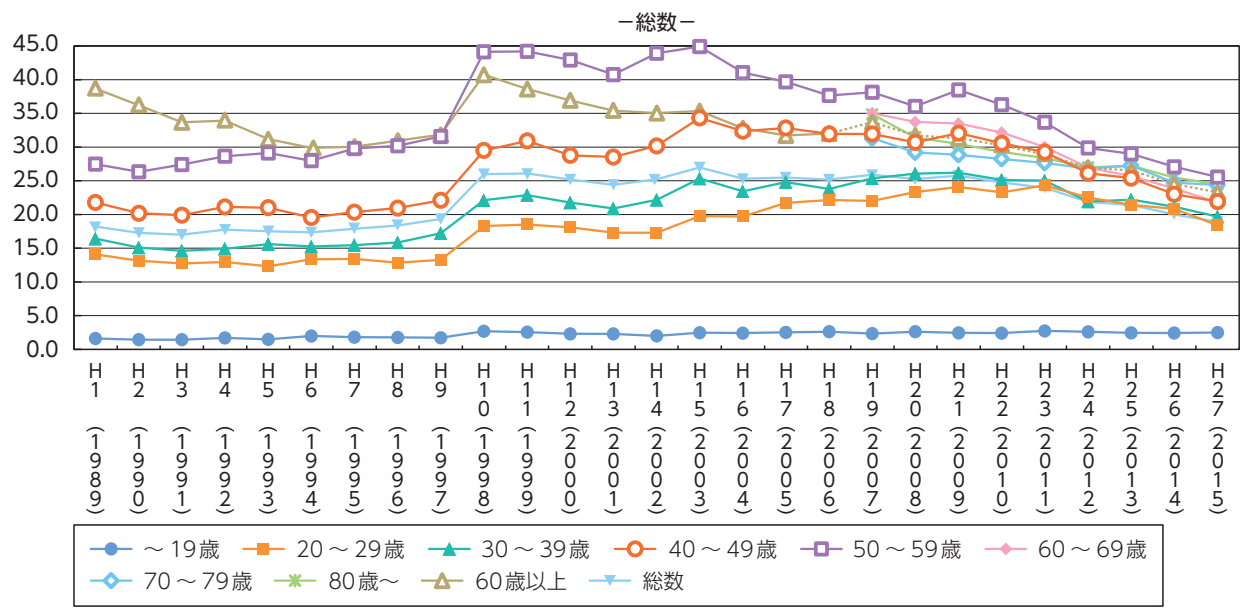
第1-7図 年齢階級別（10歳階級）の自殺者数の推移



注意：平成18年までは「60歳以上」だが、19年の自殺統計原票改正以降は「60～69歳」「70～79歳」「80歳以上」に細分化された。  
資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○年齢階級別の自殺死亡率の推移をみると、40歳代以上で低下傾向にあり、特にここ数年は20歳代、30歳代も低下傾向にある。

第1-8図 年齢階級別の自殺死亡率の推移



注) 平成18年までは「60歳以上」だが、19年の自殺統計原票改正以降は「60～69歳」「70～79歳」「80歳以上」に細分化された。  
資料：警察庁「自殺統計」、総務省「国勢調査」及び総務省「人口推計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○我が国における若い世代の自殺は深刻な状況にあり、15～39歳の各年代の死因の第1位は自殺となっている。こうした状況は国際的にみても深刻であり、15～34歳の若い世代で死因の第1位が自殺となっているのは先進7カ国では日本のみで、その死亡率も他の国に比べて高いものとなっている。

**第1-9表 平成26年における死因順位別にみた年齢階級・性別死亡数・死亡率・構成割合**

総数

年齢階級	第1位				第2位				第3位			
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)
10～14歳	悪性新生物	101	1.8	20.2	自殺	100	1.8	20.0	不慮の事故	85	1.5	17.0
15～19歳	自殺	434	7.3	36.0	不慮の事故	312	5.3	25.9	悪性新生物	141	2.4	11.7
20～24歳	自殺	1,178	19.7	50.8	不慮の事故	382	6.4	16.5	悪性新生物	175	2.9	7.5
25～29歳	自殺	1,423	22.0	49.5	不慮の事故	388	6.0	13.5	悪性新生物	325	5.0	11.3
30～34歳	自殺	1,520	20.9	39.0	悪性新生物	698	9.6	17.9	不慮の事故	413	5.7	10.6
35～39歳	自殺	1,762	20.7	30.0	悪性新生物	1,392	16.4	23.7	心疾患	551	6.5	9.4
40～44歳	悪性新生物	2,901	30.1	28.8	自殺	2,042	21.2	20.3	心疾患	1,219	12.6	12.1
45～49歳	悪性新生物	4,683	55.2	34.1	自殺	2,046	24.1	14.9	心疾患	1,719	20.3	12.5
50～54歳	悪性新生物	7,760	100.9	39.1	心疾患	2,562	33.3	12.9	自殺	2,015	26.2	10.2
55～59歳	悪性新生物	13,851	182.7	45.7	心疾患	3,689	48.7	12.2	脳血管疾患	2,249	29.7	7.4
60～64歳	悪性新生物	27,860	312.3	48.6	心疾患	7,133	80.0	12.4	脳血管疾患	3,912	43.9	6.8

男

年齢階級	第1位				第2位				第3位			
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)
10～14歳	自殺	67	2.3	21.1	悪性新生物	65	2.2	20.4	不慮の事故	57	2.0	17.9
15～19歳	自殺	312	10.3	37.1	不慮の事故	242	8.0	28.8	悪性新生物	96	3.2	11.4
20～24歳	自殺	868	28.2	52.1	不慮の事故	307	10.0	18.4	心疾患	98	3.2	5.9
25～29歳	自殺	1,042	31.5	53.1	不慮の事故	296	9.0	15.1	悪性新生物	148	4.5	7.5
30～34歳	自殺	1,088	29.4	42.3	不慮の事故	324	8.7	12.6	悪性新生物	306	8.3	11.9
35～39歳	自殺	1,241	28.7	33.4	悪性新生物	565	13.1	15.2	心疾患	424	9.8	11.4
40～44歳	自殺	1,507	30.8	23.4	悪性新生物	1,210	24.7	18.8	心疾患	967	19.7	15.0
45～49歳	悪性新生物	2,133	49.8	24.4	自殺	1,465	34.2	16.7	心疾患	1,357	31.7	15.5
50～54歳	悪性新生物	3,948	102.3	30.5	心疾患	2,063	53.4	15.9	自殺	1,496	38.8	11.5
55～59歳	悪性新生物	7,962	211.2	39.3	心疾患	2,921	77.5	14.4	脳血管疾患	1,599	42.4	7.9
60～64歳	悪性新生物	17,837	407.3	45.1	心疾患	5,592	127.7	14.1	脳血管疾患	2,743	62.6	6.9

女

年齢階級	第1位				第2位				第3位			
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)
10～14歳	悪性新生物	36	1.3	19.7	自殺	33	1.2	18.0	不慮の事故	28	1.0	15.3
15～19歳	自殺	122	4.2	33.4	不慮の事故	70	2.4	19.2	悪性新生物	45	1.6	12.3
20～24歳	自殺	310	10.6	47.3	悪性新生物	79	2.7	12.1	不慮の事故	75	2.6	11.5
25～29歳	自殺	381	12.1	41.8	悪性新生物	177	5.6	19.4	不慮の事故	92	2.9	10.1
30～34歳	自殺	432	12.1	32.7	悪性新生物	392	11.0	29.7	不慮の事故	89	2.5	6.7
35～39歳	悪性新生物	827	19.8	38.2	自殺	521	12.4	24.1	心疾患	127	3.0	5.9
40～44歳	悪性新生物	1,691	35.6	46.8	自殺	535	11.3	14.8	心疾患	252	5.3	7.0
45～49歳	悪性新生物	2,550	60.7	51.2	自殺	581	13.8	11.7	心疾患	362	8.6	7.3
50～54歳	悪性新生物	3,812	99.6	55.4	脳血管疾患	567	14.8	8.2	自殺	519	13.6	7.5
55～59歳	悪性新生物	5,889	154.6	58.7	心疾患	768	20.2	7.7	脳血管疾患	650	17.1	6.5
60～64歳	悪性新生物	10,023	220.7	56.5	心疾患	1,541	33.9	8.7	脳血管疾患	1,169	25.7	6.6

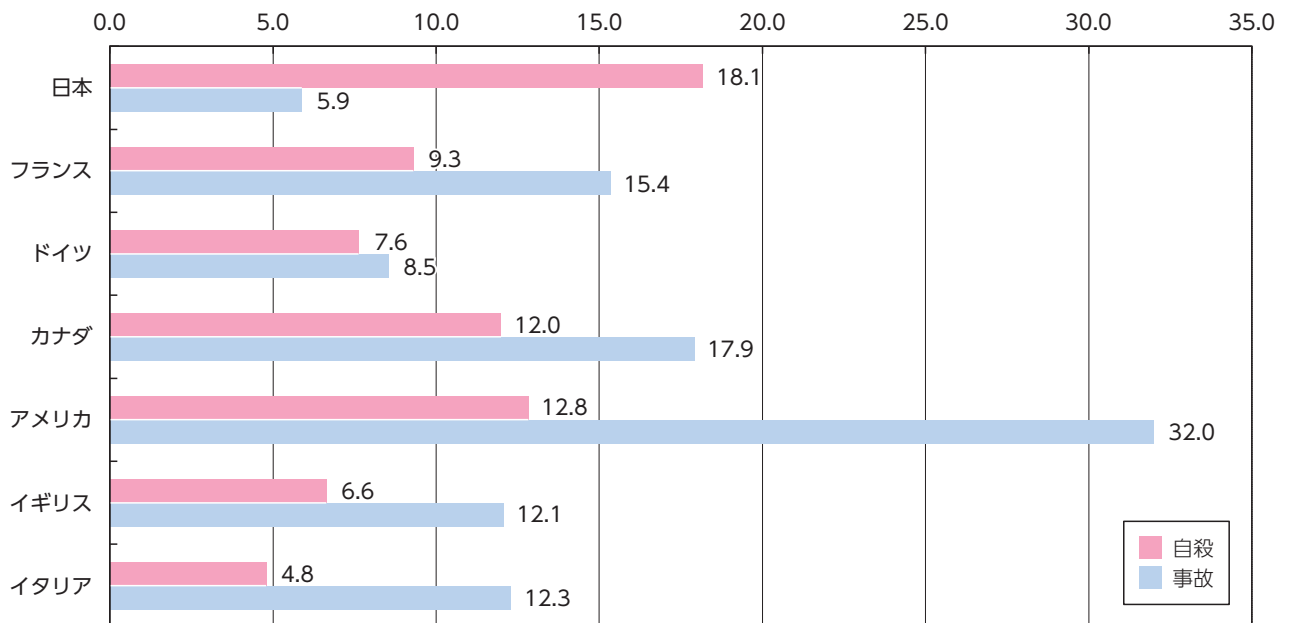
注) 構成割合は、それぞれの年齢階級別死亡数を100とした場合の割合である。

資料：厚生労働省「人口動態統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

第1-10図 先進7カ国の年齢階級別死亡者数及び死亡率（15～34歳、死因の上位3位）

	日本 2013				フランス 2011				ドイツ 2013				カナダ 2011			
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	
第1位	自殺	4,731	18.1	事故	2,377	15.4	事故	1,598	8.5	事故	1,558	17.9	事故	1,558	17.9	
第2位	事故	1,533	5.9	自殺	1,440	9.3	自殺	1,428	7.6	自殺	1,043	12.0	自殺	1,043	12.0	
第3位	悪性新生物	1,262	4.8	悪性新生物	1,004	6.5	悪性新生物	1,027	5.5	悪性新生物	502	5.8	悪性新生物	502	5.8	

	アメリカ 2012				イギリス 2013				イタリア 2012				韓国（参考） 2013			
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	
第1位	事故	27,586	32.0	事故	2,038	12.1	事故	1,589	12.3	自殺	2,580	18.3	自殺	2,580	18.3	
第2位	自殺	11,068	12.8	自殺	1,120	6.6	悪性新生物	889	6.9	事故	1,225	8.7	事故	1,225	8.7	
第3位	殺人	8,885	10.3	悪性新生物	1,070	6.3	自殺	620	4.8	悪性新生物	874	6.2	悪性新生物	874	6.2	



注意：「死亡率」とは、人口10万人当たりの死亡者をいう。

資料：世界保健機関資料、総務省統計局「世界の統計2015」、カナダ統計局「2011 Census of Canada」より厚生労働省自殺対策推進室作成